

# 一般質問



議席10番  
田山 文雄 議員

成年後見人制度の  
活用促進について

**問** 認知高齢者の推計人数は600万人を超え、軽度認知障がいの高齢者や精神障がい者、知的障がい者などを合わせると、全国1,200万人に上ると推計され益々成年後見人制度の推進が必要であると思うが当町の取組について伺いたい。

**答** 現在、町窓口や境町地域包括支援センターにおいて、本人やご家族、入所施設等からの相談に応じ、制度の内容説明や利用に向けた助言を行っております。また、家庭裁判所への申立ての際には必要書類の準備や関係機関との調整など、手続きが円滑に進むよう支援を行っております。

議員提案の窓口一本化については、埼玉県ふじみ野市などの先進事例を研究し、後見人の負担軽減や、制度を必要とする方が適切に利用できる体制の構築に努めてまいりたいと考えております。

(福祉部長)

## 情報リテラシー教育について

**問** インターネットやSNSの利便性が高まる一方で、情報の偏りやフェイクニュースなど個人や社会へ影響を及ぼす事が懸念されています。小中学校の児童生徒に一人一人にタブレット端末が配備され教育DXが推進されていますが、当町においては情報リテラシー教育はどのように取り組んでいるのか伺いたい。

**答** 小中学校では専門指導員やICTサポーターによる授業を実施し、家庭へのルール作りも働きかけております。情報の真偽を見極める力は、現代社会において非常に重要とされており、今後も外部講師と連携し、冷静な判断ができる情報リテラシー教育を推進してまいりたいと考えております。

(教育次長)



議席3番  
枝 史子 議員

給食センターの  
建て替えについて

**問** 建て替えに着手するにあたり、「検討委員会」の設置はいつ頃を想定しているのか町の見解を問う。

**答** 給食センターの建て替えについて、具体的には、12月下旬に、関係職員が北茨城市の給食センターを見学するという事を調整中でございます。その調査結果を踏まえ、検討委員会の人選を進めた上で、来年の1月には委員会を立ち上げ、第1回を開催したいと考えております。

(町長・副町長)

## 公共施設の保守・管理・修繕について

**問** 現在の公共施設の老朽化や不具合の改善を求める声が上がっている

ア) 現在、当町の公共施設における管理方針はどのようになっているのか町の見解を問う。

イ) 今後、老朽化が進んでいる既存の公共施設をどのように管理していく方針なのか町の見解を問う。

**答** (ア) 当町では、「境町公共施設総合管理計画」に基づき、計画的な維持補修による長寿命化と、施設ごとの劣化状況や利用状況に応じた修繕や統廃合等により、財政負担の平準化と住民サービス維持の両立を図ることを基本として、管理をおこなっております。

(イ) 老朽化が進んでいる施設については、まず劣化状況を把握し、安全確保を最優先に修繕や必要箇所の補強を実施してまいりたいと考えております。その上で、人口減少や財政見通しを踏まえ、長寿命化工事の実施、施設の集約再編・更新時期の平準化等をおこない、持続可能な施設管理に取り組んでまいりたいと考えております。シンパシーホールについては、老朽化もさることながら、賃借料との兼ね合いも含めて、存続について検討していかなければならないと考えております。

(町長・企画部長)